

自動車業界 ～自動車大国の地位を固めるも、地場系メーカーは苦戦～

◆市場動向 ～世界最大の自動車市場、地場系ブランドの苦戦が続く～

14年の業界規模（前年値修正済み）：

販売台数：2349万台（前年比6.9%増）、乗用車：1970万台（同9.9%増）

中国は世界一の自動車大国。昨年の国内販売台数も前年比7.3%増となり、6年連続で世界1位となった。主力の排気量1.6ℓ以下の乗用車で安定した買い替え需要がみられた。さらにSUV、MPVが引き続き高い伸びを記録。環境対応型車も生産台数こそ僅か8万台余りだが、前年実績の4倍近くに拡大した。一方で地場系ブランドはやや伸び悩み、乗用車全体に占めるシェアは4割を下回る水準。なお、中外合弁会社は国内販売が中心で、輸出の主な担い手は地場系企業。輸出は引き続き伸び悩んだ。一方で景気低迷や自動車販売規制の影響が徐々に表れ、今上期の販売台数の増加率は1.4%まで鈍化。今後は規制が比較的緩い地方都市での販売競争が激しくなる見通しだ。

◆業界の特徴 ～世界の有力メーカーが進出、近年は規制強化の方向～

主力事業面：

業界再編は着実に進み、14年の上位10社の国内シェアは9割弱。東北、長江デルタ、中部地区などが自動車産業の中心地。国有企業は有力外資との合弁会社が主力。一方の民営企業は独自ブランドを展開している。経済発展、所得水準の向上、道路インフラの整備などを背景に、ここ数年でモータリゼーションが進展。独立系の販売ディーラーや、自動車用品店など周辺市場も成長している。一方で渋滞の深刻化、自動車排気ガスなどの問題も顕在化。過剰な生産能力も課題となっている。

国際面：

世界の主要自動車・部品メーカーの大半が進出しており、トヨタ、日産、ホンダの日系大手3社も合弁会社を通じて現地生産を拡大。高級車などは海外工場から輸入している。外資系は従来の富裕層に加え、近年は中間層にも浸透。一方の輸出は地場系ブランドが主役。ただ、規模やブランド力に劣り、近年は苦戦が続いている。

政策面：

外資は規制を受けており、上限50%の合弁形式、同じ車種については合弁パートナー2社までしか認められていない。さらに市場全体をみても、渋滞緩和や環境問題などの面から規制は強まる一方で、大都市での走行規制、ナンバープレート供給制限措置、乗用車燃費規制が典型。特に燃費規制は厳しく、目標未達の場合は生産停止に追い込まれることから、各社は対応に追われている。

◆主要企業、主な取扱銘柄 ～国有大手は業績堅調も、一部の民営は苦戦気味～

14年の国内販売をみると、乗用車に関しては底堅く推移。完成車メーカー各社は概ね増益を維持した。引き続き上海汽車(600104)、東風汽車集団(00489)、第一汽車、長安汽車(200625)、北京汽車(01958)、広州汽車(02238)の国有6グループが上位を維持。各社とも引き続き主力は有力外資との合弁会社で、上海汽車の合弁3社は上位3位を独占した。一方で長安汽車と北京汽車は自社ブランド車の販売が大きく伸び、大幅な増収増益を記録。これまで自社ブランド車の主役だった民営企業をみると、長城汽車(02333)は強みとするSUVが支えとなったが、残りは競争激化から販売が低迷。吉利汽車(00175)とBYD(01211)の両社は特に落ち込んだ。対照的に高級車は北京汽車と合弁するベンツ、プリリアン スチャイナ(01114)と合弁するBMWといった海外ブランドが好調。商用車市場も大型トラックの需要を中心に回復。大手の中国重汽(03808)やイ柴動力(02338)の業

績は大きく改善した。ディーラーをみると、大手にはメーカーの系列に属さない独立系の企業も多い。中升集団（00881）、宝信汽車（01293）、正通汽車（01728）、中国永達汽車（03669）などが代表例で、自動車市場の回復を追い風に堅調な業績となった。

主な取扱銘柄：

コード	社名	通貨	売上高 増収率(%)	純利益 増益率(%)	時価総額	コメント
00175	吉利汽車	元	21,738 ▲24.3	1,431 ▲46.3	30,278	華東地区を本拠とする大手の民営自動車メーカー。「吉利」(GEELY)ブランドで知られる。地方都市が中心市場で低価格帯、小型の乗用車に強み。民営企業の中でも海外市場の開拓に熱心な点などが特徴だ。スウェーデンのボルボ社とは兄弟会社の関係にあり、長期的なシナジー効果に期待。
00489	東風汽車 集団	元	80,954 +117.3	12,845 +22.0	78,837	湖北省の大手自動車メーカー。中央政府系の大型企業で、親会社を含むグループ全体の自動車販売台数は昨年、国内2位の380万台を記録した。SUVや商用車のシェアが高い。日産、ホンダ、プジョーなどの有力外資と合併事業を展開。プジョーとは資本提携を結んでいる。
00699	神州租車	元	3,520 +30.3	436 黒転	39,080	中国最大のレンタカー事業会社。北京市に本拠を置く民営企業で、中古車販売なども手がける。13年の短期レンタカー市場でのシェアは31.2%と業界トップ。高いブランド力、膨大な拠点網を通じた利便性の高いサービス、車両仕入れにおける強い価格交渉力などが強みだ。
00881	中升集団	元	54,787 +4.3	751 ▲25.7	10,174	上場企業ではトップクラスの売上高を誇る独立系ディーラー。国内各地で4S（新車販売、アフターサービス、部品提供、顧客情報の4つの機能を持つ販売代理店）を展開。多くの海外ブランド車を取り扱う。長く日本車を販売してきただけに、日中関係の影響を受けやすい。
01114	プリリア ンスチャ イナ	元	5,515 ▲9.6	5,403 +60.1	54,982	遼寧省政府系の乗用車メーカー。子会社の瀋陽華晨金杯汽車有限公司は、「海獅」ブランドのワンボックスバン、「閣瑞斯」（グランス）ブランドのMPVなどを製造・販売。BMWとの合併会社はBMW3シリーズ、5シリーズをセミノックダウン生産する。BMWは国内でも高級車としてブランド力が高く、同社の大きな収益源。
01211	BYD	元	55,366 +11.2	434 ▲21.6	141,592	自動車、電池、IT部品の3事業を柱とする民営企業。主力ブランドの「F3」は国内の新車販売市場で過去に第1位を記録した。世界有数のシェアを占める二次（充電式）電池のノウハウを生かし、ハイブリッド車、電気自動車の開発にも注力。著名投資家のウォーレン・バフェット氏が株主として出資している。
01293	宝信汽車	元	30,723 +2.1	707 ▲29.8	10,280	経済成長で先行する東部沿海地区を中心に事業展開する自動車ディーラー。主に高級外車の販売を手がける。主力はBMWで、アウディ、キャデラックといった高級車のほか、トヨタ、ホンダ、日産、現代などの中・高級車を取り扱う。
01728	正通汽車	元	30,910 +3.6	804 ▲4	10,498	北京市を本拠とする大手輸入車ディーラー。BMWを中心に、アウディ、ボルボ、フォルクスワーゲン、ボルシェなどの高級車に注力している。4S機能を持つ販売店を都市部で展開。アフターサービスをはじめとした、販売以外の収益の割合が高い点が特徴。
01958	北京汽車	元	56,370 +341.0	4,511 +66.2	58,256	北京市政府系の大手自動車メーカー。自社ブランドでは中高級セダンの「紳宝」のほか、小型セダンやオフロードカーの「北京」、クロスオーバーSUVの「威旺」を展開。主要株主である独ダイムラーとの合併会社は「メルセデス・ベンツ」を製造。さらに韓国の現代自動車とも合併事業を展開している。
02238	広州汽車	元	22,376 +18.9	3,185 +20.1	105,084	広州市政府系の大手自動車メーカー。傘下に広州トヨタ、広州ホンダ、広汽日野など、日本企業との合併会社を複数抱える。乗用車が大半を占め、ブランド力が高く、中・高級車に強み。自動車産業の集積地である広東省に地盤を置く。日本車の比率が高いことから、日中関係の影響を受けやすい。

コード	社名	通貨	売上高 増収率(%)	純利益 増益率(%)	時価総額	コメント
02333	長城汽車	元	62,599 +10.2	8,042 ▲2.2	119,504	河北省に本拠を置く民営の大手自動車メーカー。ピックアップトラックの「風駿」、SUVの「哈弗」やセダンの「長城」など、自社ブランド車の製造販売を手がける。なかでも、ピックアップとSUVに関しては国内最大手。また、ロシア、ブルガリアやベトナムなど、海外にも複数の工場を持つ。
02338	イ柴動力	元	79,637 +36.6	5,025 +40.7	57,315	山東省政府の傘下にある国内最大級のディーゼルエンジンメーカー。同社製品は大型トラック、建設機械など幅広い機械の動力源として使用される。特に自動車分野に強く、買収を通じて大型トラックやエンジン以外の自動車部品の生産・販売事業にも参入。ドイツのトラック・フォークリフト大手「キオングループ」を支配下に置く。
03808	中国重汽	元	32,809 +7.9	408 +50.4	11,569	「中国重汽」(SINOTRUK)ブランドで知られる大型トラック業界のリーディングカンパニー。山東省政府系の中国重型汽車集団の傘下にある。大株主の独トラック大手「MAN」からの支援をてこに技術・ブランド力の向上を目指している。
200625	長安汽車	元	52,913 +35.2	7,561 +124.5	100,897	重慶市を本拠とする中国政府系の大手自動車メーカー。販売台数で国内4位。「睿騁」シリーズや「逸動」シリーズのセダン、「CS」シリーズのSUV、「長安之星」シリーズのバンなどの自社ブランド車を生産。スズキ、フォード、マツダとの合併会社を持つ。江鈴自動車(200550)に間接出資している。
600066	宇通バス	元	25,728 +15.9	2,613 +15.5	52,523	河南省を本拠とする民営企業で、中国最大のバス車両メーカー。大・中・小型のバス車両の生産に加え、保守サービスの提供、バス輸送サービスなども手がける。積極的に次世代低公害車を開発・投入。海外市場への輸出・販路開拓にも取り組んでいる。
600104	上海汽車	元	630,001 +11.3	27,973 +12.8	290,016	中国最大の国有自動車メーカー。GM、フォルクスワーゲンなどの有力外資や柳州五菱汽車などの国内メーカーと提携。合併会社のシェアは国内上位にランクされる。14年のグループ全体の販売台数は前年比10%増で国内首位。傘下に置く華域汽車(600741)は国内最大級の自動車部品メーカーとして有名。
600335	国機汽車	元	90,344 +13.7	855 +12.6	23,127	国内2位の自動車流通会社。国有機械メーカー「中国機械工業集団」の傘下にある。自動車の輸入・卸売、小売などを展開。天津市にある自動車ふ頭・倉庫は年間20万台以上の取扱能力を持つ。フォルクスワーゲンなど欧米の有力メーカーと提携。主要都市でカーショップを運営し、中古車販売、レンタカーなども手がける。

※売上高・純利益はすべて14年12月本決算。単位は百万。

※時価総額は15年7月22日の終値に基づきブルームバーグから算出、単位は百万HK\$。換算レートは1元=1.2HK\$。

◆注目されるトピックス ～大都市の買い替えと地方都市の新規需要～

大都市と地方都市で異なる戦略が必要、製品の差別化が成長の条件に：

中国の大都市部では買い替え需要が主流になりつつあり、エントリーユーザーによる爆発的な新規需要は困難。ナンバープレート規制など需要引き締めも厳しく、競争も激しい。さらにユーザーはより一層、デザイン・機能性を重視。このため、メーカーは製品の差別化を通じて生き残りを図らざるを得ない。一方の地方都市は依然としてエントリーユーザーの新規需要が見込めることから、低価格・省エネが一層重要に。国有大手や外資は大都市部、民営は地方都市で如何に販売を伸ばせるかがカギになる。

外資規制に緩和の可能性も、自社ブランド車の競争力強化が不可欠：

中国企業は規模や技術・ブランド力などの面で有力外資に劣る。さらに今後、外資規制が緩和されれば、海外勢が100%出資で参入するだろう。そうなれば中外合併に依存する国有大手は抜本的な変革に迫られる。民営も含めて早急に自社ブランド車の競争力を高める必要があり、買収・提携が加速していこう。

メーカー各社による積極的な新車投入に注目：

各メーカーにとって、新車投入は販売増加に向けた最大の起爆剤。特に SUV や低燃費・低排出の環境対応型車は数少ない成長分野の一つとされ、今後も市場の拡大は続く。同分野での新車競争がメーカーの成長を左右する可能性が高い。なお、新車発表の舞台として、北京、上海、広州の3大モーターショーに注目。北京は偶数年のメーデー、上海は奇数年の4月最後の週、広州は毎年11月後半に開催される。

中国の自動車販売台数

(中国部 畦田)

車種	15年1-6月		14年		13年	
	販売量 (万台)	増減率 (%)	販売量 (万台)	増減率 (%)	販売量 (万台)	増減率 (%)
全体	1185.3	1.4	2349.2	6.9	2198.4	13.9
うち乗用車	1009.6	4.8	1970.1	9.9	1792.9	15.7
セダン	578.9	-5.9	1237.7	3.1	1201.0	11.8
MPV	101.6	15.3	191.4	46.8	130.5	164.5
SUV	266.1	45.9	407.8	36.4	298.9	49.4
CUV	62.9	-19.0	133.2	-18.1	162.5	-28.0
うち商用車	175.5	-14.4	379.1	-6.5	405.5	6.4
バス	28.2	0.9	60.7	8.4	47.7	12.1
トラック	147.3	-16.8	318.4	-8.9	349.6	5.8

※統計範囲の相違等でメーカーや業界団体の発表値と異なる場合がある。出所：搜狐汽車

ブランド別販売台数

順位	ブランド (赤字は国内ブランド)	14年 販売量 (万台)	増減率 (%)	15年1-4 月販売量 (万台)	増減率 (%)
1	フォルクスワーゲン	271.1	13.1	97.5	-3.4
2	五菱	140.5	6.0	50.4	-5.9
3	現代	112.0	8.7	37.0	-1.4
4	トヨタ	95.6	11.5	27.6	-4.1
5	ビュイック	91.7	13.5	29.0	-5.6
6	日産	85.9	2.0	23.4	-14.7
7	フォード	80.4	18.4	29.1	10.5
8	ホンダ	77.8	3.5	24.2	10.5
9	シボレー	76.7	7.3	22.2	-6.3
10	起亜	64.6	18.2	21.1	1.7
11	長安(長安汽車)	52.6	36.0	25.1	46.9
12	アウディ	51.3	24.8	16.3	3.9
13	長安商用(長安汽車)	44.7	2.8	16.2	-14.9
14	BYD	43.8	-13.5	15.7	14.1
15	奇瑞	43.1	4.9	13.4	6.3
16	Haval(長城汽車)	42.9	53.5	21.8	93.5
17	吉利(吉利汽車)	42.4	-17.9	18.2	45.8
18	プジョー	38.4	44.0	14.3	20.8
19	シトロエン	32.0	16.6	10.0	-6.4
20	シュコダ	28.2	22.1	9.7	-

※統計範囲の相違等でメーカーや業界団体の発表値と異なる場合がある。

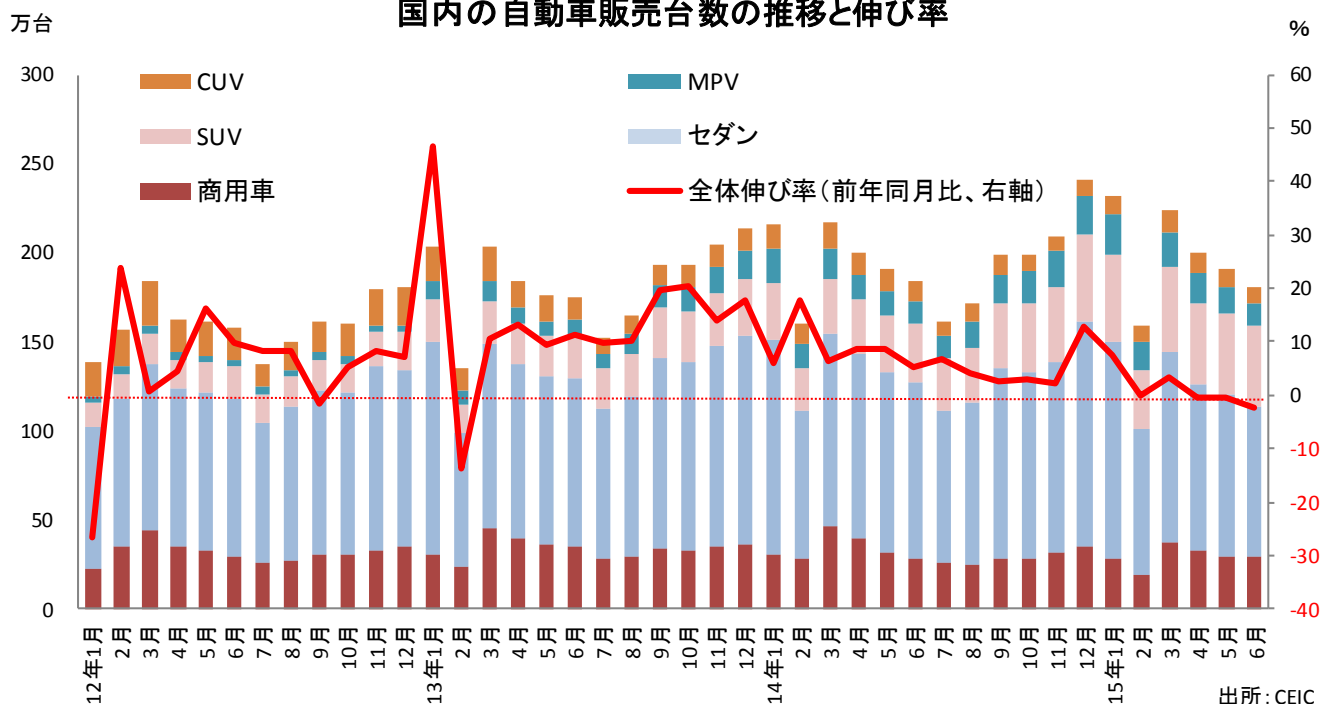
出所：搜狐汽車

生産メーカー別販売台数

順位	生産メーカー (赤字は地場系メーカー。中外合併ではない)	14年 販売量 (万台)	増減率 (%)	15年1-4 月販売量 (万台)	増減率 (%)
1	上海GM(上海汽車の傘下)	172.4	11.8	52.9	-4.5
2	上汽GM五菱(上海汽車の傘下)	158.6	11.3	63.1	12.3
3	上海フォルクスワーゲン(上海汽車の傘下)	144.3	11.5	56.7	-1.1
4	一汽フォルクスワーゲン	126.8	15.1	40.8	-6.4
5	北京現代(北京汽車の傘下)	112.0	8.7	37.0	-1.4
6	長安汽車	97.3	18.4	41.4	14.3
7	東風日産(東風汽車集團の傘下)	95.2	2.8	26.4	-13.2
8	長安フォード(長安汽車の傘下)	80.4	18.4	29.1	10.5
9	神龍汽車(東風汽車集團の傘下)	70.4	30.1	24.3	7.9
10	東風悦達起亜(東風汽車集團の傘下)	64.6	18.2	21.1	1.7
11	長城汽車	61.3	-2.3	26.0	28.0
12	一汽トヨタ	58.2	5.0	15.8	-7.4
13	一汽アウディ	51.3	24.8	16.3	3.9
14	広州ホンダ(広州汽車の傘下)	48.0	10.2	14.5	34.4
15	奇瑞汽車	46.1	1.7	14.2	2.9
16	BYD	43.8	-13.5	15.7	14.1
17	吉利汽車	42.6	-22.5	18.2	44.2
18	広州トヨタ(広州汽車の傘下)	37.4	23.4	11.8	0.9
19	東風ホンダ(東風汽車集團の傘下)	30.8	-4.1	9.9	-13.7
20	一汽轎車(000800)	28.8	16.3	8.3	-9.3

※統計範囲の相違等でメーカーや業界団体の発表値と異なる場合がある。出所: 搜狐汽車

国内の自動車販売台数の推移と伸び率



重要な注意事項

当社の概要

商号等 内藤証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号
 本店所在地 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1丁目5番9号 主な事業 金融商品取引業
 資本金 30億248万円(平成27年3月末現在) 設立年月 昭和18年4月
 加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
 指定紛争解決機関 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター
 連絡先 ご質問がございましたら、下記部支店までご連絡ください。

リスク等重要事項のご説明

リスクについて

〈株 式〉株価および為替相場(特に外国株式の場合)の変動等により損失が生じるおそれがあります。
 〈債 券〉債券は市場金利の動向や発行者の信用状況等によって価格が変動するため、損失を生じるおそれがあります。さらに外国債券は為替相場の変動などにより損失が生じる場合もあります。
 〈投資信託〉組み入れた株式や債券など、有価証券の価格変動および為替相場の動向(特に外国通貨建て有価証券等を投資対象としている場合)等により投資元本を割り込むおそれがあります。
 〈株価指数先物・同オプション〉対象とする株価指数の動きにより損失が生じるおそれがあります。加えて、建て玉代金に比べ少額の委託証拠金での取引が可能であり、株価指数の変動によっては損失額が委託証拠金を上回る(元本超過損)おそれがあります(オプション買方の場合は買付代金とコストの合計額に限定されます)。

手数料について

〈株 式〉①対面取引の場合、i)国内株式は約定代金に対して最大1.15%(税抜き以下同じ、但し最低2,500円)。ii)現地委託取引による外国株式は売買金額に対し最大0.80%(但し買付け時のみ最低500円)の国内手数料をいただきます。加えて、現地手数料として米国株式で外貨約定代金の最大0.50%、香港株式で同0.25%(最低50香港ドル)、上海・深セン株式で同0.50%必要となるほか、各証券市場によってSEC Fee、印紙税や取引所税等の費用が掛かる場合があります。また、為替に関しては内藤証券が決定したレートを用います。iii)国内店頭(相対)取引による外国株式は当社提示の取引価格の中に手数料等(諸費用を含む)をあらかじめ加味しております。また為替は上記同様、当社が替レートを用います。②コールセンター取引の場合、i)国内株式は約定代金に応じて最大31,000円(最低2,500円)。ただ、月間取引回数等による割引あり。ii)外国株式は対面取引と同様です。③インターネット取引の場合、i)国内株式は手数料プランが複数に分かれており、この欄に表示するのが難しいため、詳細は当社HP(<http://www.naito-sec.co.jp/>)にてご確認ください。ii)現地委託取引による外国株式は売買金額に対して最大0.40%(但し買付け時のみ最低500円)の国内手数料をいただきます。また現地手数料並びに為替レート等は対面取引と同様です。なお、インターネット取引では米国株式及び国内店頭取引による外国株式の取り扱いを行っていません。
 〈債 券〉国内債券については売買委託手数料表をご確認ください。また、相対取引による外貨建て債券の売買に関しては当社が提示する価格の中に手数料等(諸費用を含む)をあらかじめ加味しております。円貨と外貨を交換する際には、外為市場等の動向をふまえて当社が決定した為替レートを用います。
 〈投資信託〉商品により異なりますので、詳細は「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
 〈株価指数先物・同オプション〉i)株価指数先物は約定代金に対して最大0.08%。ii)株価指数オプションは約定代金の最大4.0%(但し最低2,500円)

◆本資料は、公表されたデータ等信頼できると考えられる情報に基づいて内藤証券が作成し、また記載された見解等の内容は全て作成時点のもので時間の経過とともに不正確となる場合があり、過去から将来にわたって、その正確性・完全性を保証するものではありません。内容は今後予告なく変更することがあります。◆本資料に基づいた投資によって発生する損益は全てお客様に帰属します。内藤証券は、故意または重大過失が無い限り、責任を負いません。◆本資料に提供される情報著作権等の知的財産権は、引用部分を除き、全て内藤証券に帰属します。お客様は、事前に内藤証券の同意なく、本資料の内容及び情報を複製・譲渡・修正・変更または転送等の行為をすることができません。

本社 大阪市中央区高麗橋1-5-9 06-6229-6511

東日本地区

東京第一営業部	TEL03-3666-5541	三鷹支店	TEL0422-71-1251	伊勢崎支店	TEL0270-25-3780
東京第二営業部	TEL03-3666-7137	金沢文庫支店	TEL045-780-5021	伊勢崎駅前サテライト	TEL0270-25-3780
神田支店	TEL03-6361-9191	足利支店	TEL0284-22-1234	焼津支店	TEL054-621-1311

西日本地区

本店営業部	TEL06-6229-6904	橿原支店	TEL0744-28-4711	新宮支店	TEL0735-22-8151
住道支店	TEL072-889-5236	和歌山支店	TEL073-423-6211	高松支店	TEL087-822-0105
寝屋川支店	TEL072-822-6333	有田支店	TEL0737-52-7110		
金剛支店	TEL072-365-1901	田辺支店	TEL0739-22-4678		

インターネット

succe-s@naito-sec.co.jp

コールセンター

☎ 0120-20-9680

2015/7/23 広告審査済